

揺れやすさマップ

揺れやすさマップとは




地震が発生した場合、震源の位置や地盤の硬さによって揺れの大きさは違います。

この「揺れやすさマップ」は玉東町で発生する可能性のある大地震が実際におきた場合の各地の揺れを震度で表した地図です。

揺れやすさを計算するために想定した地震は、大きさがマグニチュード6.9で玉東町全体が震源となる大地震です。

揺れやすさマップ 凡例

震度階級

震度7	<input type="checkbox"/> 人間 揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。		強
	<input type="checkbox"/> 屋内の状況 ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。		
	<input type="checkbox"/> 屋外の状況 ほとんどの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。		
震度6強	<input type="checkbox"/> 人間 立っていることができず、はわないと動く事ができない。		↑
	<input type="checkbox"/> 屋内の状況 固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。		
	<input type="checkbox"/> 屋外の状況 多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。		
震度6弱	<input type="checkbox"/> 人間 立っていることが困難になる。		↓
	<input type="checkbox"/> 屋内の状況 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。		
	<input type="checkbox"/> 屋外の状況 かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。		

※震度6強については、同じ震度でも建物被害のありさまに幅があるため、その違いが分かるように5段階に色分けしています。

【地震10カ条】

大きな地震が起きても、落ち着いて行動しましょう！

1. まず自分の身を守る！

地震の大きな揺れは1分以上。テーブルや机の下に身をかくし、頭を保護しましょう。

2. すばやく火の始末を！

小さな火が大きな災害の原因になります。初期消火が肝心です。やけどをしないよう気をつけましょう。

3. あわてて外に飛び出さない！

周囲の状況を確認して、落ち着いて行動しましょう。(瓦や看板が落ちてくるので危険)

4. 戸を開けて、出口を確保！

とくに中高層住宅では、避難のための出口確保が重要です。2次災害を防ぐためにブレーカーは落として避難しましょう。

5. 屋外では、危険なものから遠ざかる！

ブロック塀が倒れたり、窓ガラスや看板などが落ちてくることもあります。

6. 百貨店・劇場などでは係員の指示に従う！

大勢の人が集まる場所での災害は、パニックを引き起こしがち。自分勝手な判断はしないこと。

7. 自動車は「左」によせて停車！

カーラジオの情報を聴いて行動しましょう。キーはつけたまま、緊急車両の妨げにならないよう注意しましょう。

8. 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意！

災害が発生しそうな地域の方は、すばやく避難しましょう。

9. 避難は徒歩で持ち物は最小限に！

自動車を使うと渋滞を引き起こし、消火・救援救護活動の妨げになります。

10. デマにまどわされない！

報道機関や役場、消防、警察などからの情報をキャッチしましょう。

